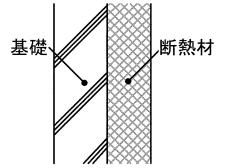
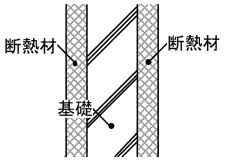
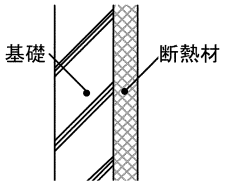
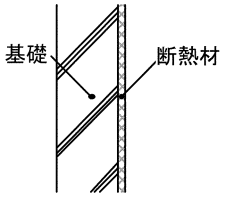
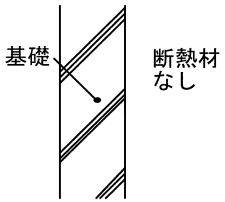
基礎	0.27	鉄筋コンクリート造の基礎の外側又は内側にRが3.5以上の断熱材を張り付けた断熱構造の場合	
		鉄筋コンクリート造の基礎の両側に、合計してRが3.5以上の断熱材を張り付けた断熱構造の場合	
	0.52	鉄筋コンクリート造の基礎の外側又は内側にRが1.7以上の断熱材を張り付けた断熱構造の場合	
	1.38	鉄筋コンクリート造の基礎の外側又は内側にRが0.5以上の断熱材を張り付けた断熱構造の場合	
	4.45	無断熱の鉄筋コンクリート構造の場合	

備考

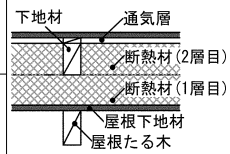
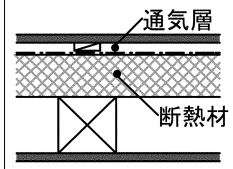
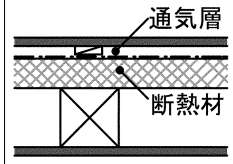
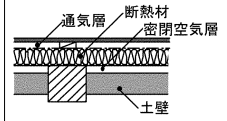
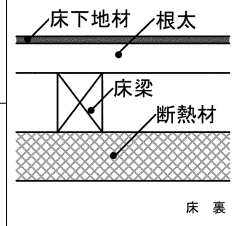
1　各部位の日射熱取得率は、それぞれの熱貫流率の数値に0.034を乗じ、かつ、熱橋の影響を考慮することにより求められる。別表第４から別表第８までにおいて同じ。

2　表中のRは熱抵抗値を示し、「単位は１ワットにつき平方メートル・度」とする。別表第４から別表第８までにおいて同じ。

3　単位住戸において複数の単位住戸の種類又は断熱材の施工法を採用している場合にあっては、それぞれの部位の構造又は断熱材の施工法に応じた各部位の熱貫流率の数値を用いることができるものとする。以下同じ。

4　土間床等の外周部の線熱貫流率は1.8（単位　１ワットにつきメートル・度）とする。

別表第４

木造の単位住戸　外張断熱工法の仕様例			
部位	熱貫流率［W／(㎡・K)］	仕様の詳細	断面構成図
屋根	0.17	Rが0.075以上の屋根下地材等の上に、Rが6.3以上の断熱材を外張りした断熱構造とする場合	
	0.24	Rが0.075以上の屋根下地材等の上に、Rが4.4以上の断熱材を外張りした断熱構造とする場合	
外壁	0.35	軸組の外側にRが3.0以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
	0.53	軸組の外側にRが1.9以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
		軸組の外側にRが1.7以上の断熱材を張り付け、かつ、軸組の間に土壁（厚さ60ミリメートル以上）を設けた断熱構造とする場合	
床	0.24	床裏が外気に接する場合であって、床梁の下側にRが4.5以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
	0.34	床裏が外気に接する場合であって、床梁の下側にRが3.1以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
基礎	木造の単位住戸　充填断熱工法の仕様例と同様		